

「はやぶさ」

小惑星の秘密に挑んだ7年の旅

60億kmの宇宙の旅を経て、先日地球に帰還を果たした小惑星探査機「はやぶさ」。地球から約3億km離れた小惑星・イトカワを目指し旅立ったのは7年前、目的は太陽系誕生の秘密を探るため、イトカワの砂を地球に持ち帰ることでした。

この7年間、はやぶさの宇宙の旅を見守り続けた川口教授が講演、はやぶさプロジェクトの目的と主な科学技術成果に触れ、また特に、復路の航海を中心に、運用上のトラブルと、それを克服してきたプロジェクトチームの活動を紹介します。



講演テーマ

「小惑星探査機『はやぶさ』の 開発から打ち上げ、帰還まで」



JAXA 宇宙航空研究開発機構
JAXA 月惑星プログラムグループ プログラムディレクター
JAXA 宇宙科学研究所 宇宙航行システム研究系 研究主幹

かわぐち じゅんいちろう
川口 淳一郎 教授

小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトマネージャとして、はやぶさの開発から打ち上げ、帰還までの指揮をとった。秋田大学大学院工学資源学研究科において、毎年集中講義を担当する非常勤講師を務めている。

事前申込が必要です。



定員は **先着順** で **250** 名。

お申込みはお早めに!!

- 参加御希望の方は
- ①氏名
 - ②学年・年齢
 - ③電話番号

①~③を電話・FAX・Eメールのいずれかで下記までお知らせください。

日時：平成 **22** 年 **7** 月 **13** 日(火)
18:00 ~ 19:30

会場：**秋田大学 60 周年記念ホール**
(教育文化学部 3 号館 145 講義室)

対象：**一般市民、小・中・高校生**